



令和元年 7月 16日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

島田卓二、黒田清輝とその周辺

島田卓二（1886-1946年）は、愛知県宝飯郡大木村（現：豊川市）に生まれた洋画家です。県立第四中学校（現：時習館高校）を卒業後、上京し画家を目指します。黒田清輝の門を叩き、書生となって白馬会の洋画研究所に学びました。第6回文展に入選するなどし、画家として活躍しますが、大正13年の関東大震災で自宅が崩壊し帰郷しました。その後は豊橋や名古屋での個展など郷土での活動が中心となり、豊橋洋画協会の設立に中心的立場で関わる一方、郷里の高校等で教鞭をとり、後進の育成にも尽力しました。

作風は新派（紫派）と呼ばれた黒田譲りの明るい外光派の色彩を踏襲し渥美半島や湯谷溪谷、西浦などの風景画を描きました。公募団体に所属せず、晩年は中央画壇とも距離を置いたため、これまで本格的な評価や回顧がなされてきませんでした。

本展では、彼が遺した日記を読み解きながら、黒田清輝や交流のあった画家らの作品を比較展示します。また、黒田の代表作《湖畔》も展示（8/16～29のみ）します。

記

- 1) 会 期 令和元年8月16日（金）～令和元年9月22日（日）
開館時間は午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
月曜休館・ただし9月16日（月祝）は開館します
【前期展示】8/16～8/29、【後期展示】8/30～9/22
※前後期で、一部展示作品が入れ替わります。《湖畔》は前期展示。
- 2) 会 場 豊川市桜ヶ丘ミュージアム
- 3) 入 場 料 一般800(700)円、小中高大人400(300)円
※()内は前売り(7/9～8/15)、及び割引料金。
- 4) 関連事業 講演会やプレミアムナイトミュージアム等を行います。
(詳細は別途チラシ参照)
- 5) 開場式 8月16日（金）午前10時より、午前11時まで内覧会。
当日は、島田卓二の孫にあたる嶋田好孝様にご出席されます。

【お問合せ先】

豊川市桜ヶ丘ミュージアム(市民部文化振興課) 森田
TEL:0533-85-3775 Eメール:bunka@city.toyokawa.lg.jp

島田卓二、 黒田清輝と その周辺

島田卓二《桂川附近》大正6年／豊橋市美術博物館蔵

Takuji Shimada



Seiki Kuroda

黒田清輝《湖畔》明治39年／(写真提供:東京文化財研究所)東京国立博物館蔵【前期展示8/16-8/29】

2019 8.16 fri - 9.22 sun

前期展示 8.16 fri - 8.29 thu 後期展示 8.30 fri - 9.22 sun

開館時間 9:00-17:00 ※8月16日(金)のみ午前11時から開場 ※入館は16:30まで

休館日 月曜日 ※ただし9月16日(月)は臨時開館

入場料 一般 800円(700円)、小中高大生 400円(300円) ※()内は前売・割引料金

- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご持参された方と、その介助者1名は無料。
- 割引料金でのご入場は、割引付チラシか桜ヶ丘ミュージアムHPから割引ページを印刷した紙をご持参頂くか、スマホ等での割引ページの提示が必要です。
- 学生は学生証の提示が必要です。
- 前売券は8月15日(木)まで桜ヶ丘ミュージアム、ウインディアホール、豊川市文化会館、ハードフルホール、フロイデンホールで販売(予定)。
- 「ほの国こどもパスポート」持参のお子さんは無料で入場できます。

主催・豊川市桜ヶ丘ミュージアム・中日新聞社 後援・愛知県教育委員会・豊川市教育委員会・東愛知新聞社・東海日日新聞社

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

島田卓二(1886-1946年)は、愛知県宝飯郡大木村(現:豊川市)に生まれた洋画家です。県立第四中学校(現:時習館高校)を卒業後、上京して画家を目指します。黒田清輝の門を叩き、書生となって白馬会の葵橋洋画研究所に学びました。第6回文展に入選するほか、第13回白馬会展や初期の光風会展に出品し、国民美術協会の設立にも参加しています。黒田門下7名で光瀾社を創設し発表するほか、婦人雑誌の口絵なども手がけるようになりますが、大正13年の関東大震災で小田原の自宅が崩壊し、愛知県豊橋市へ帰郷しました。

その後は豊橋や名古屋松坂屋での個展など郷土での活動が中心となり、豊橋洋画協会の設立に中心的立場に関わる一方、郷里の高校等で教鞭をとりました。

作風は新派(紫派)と呼ばれた黒田譲りの明るい外光派の色彩を踏襲しながら、屋外での制作を重んじ、渥美半島や湯谷渓谷、西浦などに出向いては景勝地等をよく描いています。後年はタッチもおおらかになり独自の画風を確立しつつ、絵を描き続けました。

また、絵で生計を立てる努力を惜みず、駅に沿線の景勝地の風景画を飾るなどして、当地の画壇に大きな影響を与えましたが、晩年は中央画壇とも距離を置いたため、これまで本格的な評価や回顧がなされてきませんでした。

本展では、彼が遺した一部の日記を読み解きながら、黒田清輝や交流のあった画家らの作品を比較展示することで、その影響を検証しつつ、近代日本洋画壇の一端を、ご紹介いたします。



1



2



3



4



5



6



7

島田卓二

1885年(明治18) - 1946年(昭和21)

- 明治18年 三河国宝飯郡大木村(現:豊川市)に生れる
- 明治38年 愛知県立第四中学校(現:時習館高校)を卒業後、上京する
- 明治39年 画家を志し黒田清輝の書生となり、葵橋の白馬会洋画研究所で学ぶ
- 明治43年 第13回白馬会展に7点出品
- 大正元年 第6回文部省美術展覧会(文展)に《放牧》が初入選
- 大正2年 第1回国民美術協会展に出品
- 大正3年 第3回光風会展に《那須野ヶ原》を出品
- 大正6年 第5回光風会展に《白百合》を出品
- 大正7年 第6回光風会展に《城跡》を出品
- 大正9年 光瀾社結成 第1回展を白木屋で開催
- 大正12年 大正関東震災で家屋倒壊のため帰郷し、その後愛知に定住する
- 大正13年 島田卓二洋画展覧会を開催(山幸呉服店、豊橋市札木町)
- 大正15年 豊橋洋画協会を結成し、その中心として活躍
- 昭和2年 愛電沿線(並豊川 風来寺線)風景洋画展(名古屋松坂屋6階ホール)
- 昭和3年 このころより、画号を「泰光」「和明」として発表する
- 昭和10年 風来寺立風来寺女子高等学園に開設と同時に講師として勤務
- 昭和21年 脳溢血のため61歳で逝去



光瀾社創設時(大正9年)中央下の黒田清輝を囲んで
右上が島田卓二

- 1 島田卓二《白百合》大正5年 桜ヶ丘ミュージアム蔵
- 2 島田卓二《崖》昭和6年 桜ヶ丘ミュージアム蔵
- 3 島田卓二《湯谷渓谷「淵」》大正13年 愛知県美術館蔵
- 4 黒田清輝《雪景》大正8年 三重県立美術館蔵
- 5 岡田三郎助《婦人半身像》昭和11年 東京国立近代美術館蔵【後期展示】*
- 6 和田英作《薔薇》大正14年 刈谷市美術館蔵
- 7 ラファエル・コラン《花月(フロレアル)》明治19年 東京藝術大学蔵【後期展示】*

*【前期展示】8月16日(金)~8月29日(木)
【後期展示】8月30日(金)~9月22日(日)

記念講演会

黒田清輝、その画業と影響

講師/塩谷純
東京文化財研究所 文化財情報資料部長
日時/8月24日(土) 13:30-15:00
会場/当館会議室
定員/50名(当日先着順) 参加費/無料

講演会

島田卓二の画業について

講師/森田靖久・豊川市桜ヶ丘ミュージアム学芸員
日時/9月14日(土) 13:30-15:00
会場/当館会議室
定員/50名(当日先着順) 参加費/無料

プレミアムナイトミュージアム

《湖畔》を音楽と解説で楽しむ特別な夜

演奏/Cool Mens La(平光真彌:Vn. 新谷歌:Va. 酒井敬彰:Cb. 五島史誉:Pf)、作品解説/当館学芸員
日時/8月16日(金) 19:00~21:00(演奏は19:00から50分程度)
会場/2階市民ギャラリー
定員/80名(要事前申込み、多数の時は抽選)、要観覧券チケット ※参加申込みの詳細は、当館HPでお知らせいたします。

キッズ・ワークショップ

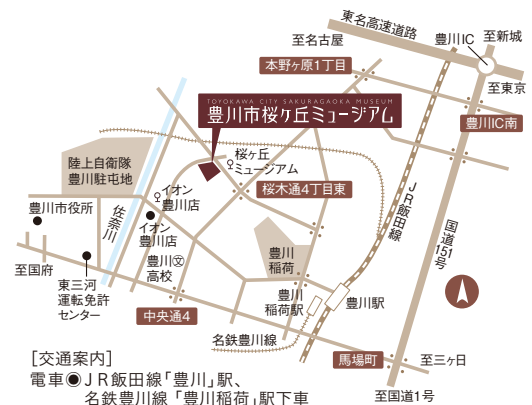
ペインティングナイフで絵を描こう

講師/鈴木善晴 洋画家・春陽会会員
日時/9月15日(日) 13:30-15:00 会場/第2実習室
定員/15名・8月10日(土) 9:00から電話か窓口で
事前申込、先着順
対象/小中高生 参加費/無料

ギャラリートーク

担当学芸員による展覧会の解説案内です。

日時/8月21日(水)、9月7日(土) 各14:00-14:30
場所/展覧会場
参加無料、ただし入場券が必要です。



[交通案内]
電車●JR飯田線「豊川」駅、名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車
徒歩約15分
バス●JR豊川駅前(りば)からコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで「桜ヶ丘ミュージアム」下車徒歩1分
車●東名高速「豊川IC」から豊川稲荷方面へ約10分
駐車場約100台:無料/公園と共用
※土日は混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用や乗合せにご協力ください。